



「ふれあいまつり」 & 「母乳育児支援委員会主催勉強会～地域公開編～」 が開催されました！

新しい年を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか？

令和元年11月2日（土）の「ふれあいまつり」では、地域の皆様にBFHや当院の母乳育児への取り組みをもっとよく知ってもらうため、『BFH紹介コーナー』を出展しました。

また、11月12日（火）の「母乳育児支援委員会主催勉強会～地域公開編～」では、『退院後の母乳育児支援～継続支援が必要な事例を通して～』というテーマで当院の芳賀助産師を講師に、地域の保健師や、産科の医師、院内外の助産師、看護師に参加して頂きました。今回この2つに参加したスタッフの感想をお届けします。

<ふれあいまつり>

今回育児を身近に感じて欲しいと思い、BFH紹介コーナーでは新生児人形の抱っこ体験や妊婦体験を実施しました。「懐かしい」と話すご年配の方や、「生まれた時の重さ位だよ」と伝えられ、重そうに抱っこするお子様の姿を温かく見守っている家族の姿が印象的でした。

また今年もおっぱいO×クイズを実施しました。小さなお子様からおじいちゃんおばあちゃん世代まで大勢の方に参加して頂き「娘のときに教えてあげたい」「昔とは違うのね」などのお声をいただきました。

来年も、地域の皆様との交流を図りつつ、育児支援に努めていきたいと思えます。

5西病棟 芳賀 安部



<地域公開編>

当院では地域で活動している医療職も参加できる勉強会を開催しています。産後1ヶ月以降の褥瘡は新生児訪問等で他施設、他職種の方々との関わりが増えてきます。そこで当院での1ヶ月健診までの取り組みを知って頂き、その後の関わりをどのようにしていくか、事例を基に様々な意見交換を行いました。「話足りないくらい」「地域でこんな取り組みをしているのが分かって良かった」「私達はこんな事で悩んでいる」等の意見がありました。どの施設でお産をしても取り組みの違いで思い悩むことが無いように、地域におけるスタッフとの交流と知識共有が今後の主な課題であると実感した勉強会となりました。

5西病棟 芳賀



2つのイベントを通じて、院外の沢山の方々に参加していただきました。

今後も「赤ちゃんにやさしい病院」として地域に広がる支援活動を行っていきたくて思っています。

5西病棟 広報担当